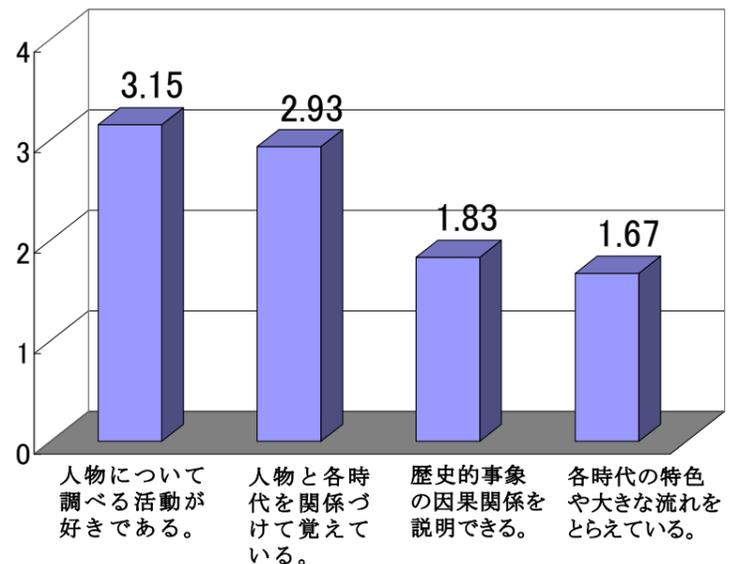


1. 単元 「室町時代」

2. 指導観

○ 右のグラフは、本学級の生徒の歴史学習に関するアンケート(4段階自己評定尺度法)と、一学期の学習内容に関する設問の結果を示したものである。生徒の歴史学習に対する興味・関心は非常に高く、その理由としては、「人物を調べるのが面白い」、「人物とできごとを覚えると楽しい」などであった。また、小学校の既習内容の人物とその人物が活躍した時代を正しく結びつけるテストでも、比較的多くの生徒が正解することができた。しかし、「なぜ、その歴史的事象が発生したのか?」という因果関係を問う設問に関しては、正解率が低くなる結果となった。また、各時代の特色や大きな流れについて、「武士が政治を行った時代だが、上方や江戸を中心とする庶民の文化が花開いた時代→江戸時代」など、他の時代との比較から特色をとらえたりすることもできていない。よって、本単元では、中世の政治・外交面と社会・文化面の特色について学習し、歴史の大きな流れをとらえる力を高めて生きたいと考える。



○ わが国の中世という時代は、武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その後南北朝の争乱の中で室町幕府が成立するという動きの中で、次第に公家勢力を圧倒しながら武家社会が大きな力をもっていく時代である。また、応仁の乱前後の社会的な変動の中で、地方の武士の力が強くなるだけでなく、庶民の力も大きく成長し、一揆の発生や農村の自治組織が成立した時代でもある。さらに、東アジア世界との交易により、外交が拡大した時代であり、その中で大きな役割を果たした琉球王国が成立した時代でもある。

よって、本単元では、封建的土地制度に基づく武家政権の成立をとらえさせるだけでなく、社会の変化や東アジア世界との交流をふまえて、「歴史の大きな流れ」をとらえさせることをねらいとする。世界を正しく理解するためには、情報の「整理箱」として頭の中に地図や年表を描けることが重要となる。なぜなら、様々な情報を「頭の中の地図や年表(メンタルマップ)」に整理することで、一面的・恣意的ではない地域理解や歴史認識を行うことができるからである。現代の社会で生きて働く力を身につけさせるためにも、広い視野をもち、物事の因果関係をとらえ、さまざまな価値観をもつ生徒を育てたいと考える。

○ そこで、本単元では、政治・外交面、社会・文化面から中世の特色について考える活動を位置付け、さらに、歴史的事象の意味や価値について歴史の大きな流れからとらえさせる活動を各次で仕組む。

第1次	・ 現在に結びつく中世の文化と差別された人々の関係に興味・関心を持つことができるように、写真や絵巻物を用いたプレゼンテーションを準備する。
第2次	・ 中世の日本の特色について、様々な資料を活用して政治・外交面と社会・文化面からとらえさせるために、古代までの日本との比較から調査する活動を仕組む。
第3次	・ 中世の政治・外交面、社会・文化面の特色をとらえ、歴史の大きな流れを説明する力を身につけることができるように、年表を用いたレポートを作成する活動を仕組む。

3. 目標

- 中世の人々の意識や差別された人々の文化や芸術の継承者としての役割に関心を持ち、社会的な差別が成立した時代の学習に意欲的に取り組むことができる。
- 現代にも結びつく文化や芸能、社会的観念や差別的意識の成立について、当時の人々の価値観から考察し、差別が起こる理由を考察することができる。
- 中世の時代の特色について様々な資料を活用して調査し、略年表を用いて政治・外交面と社会・文化面からレポートにまとめることができる。
- 中世の歴史の大きな流れをとらえ、歴史的事象の因果関係をふまえて説明することができる。

4. 単元計画(総時間数 10 時間)

関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 資：資料活用・表現 知：知識・理解

次	時	学習活動・内容	指導のねらい・手だて	評価の観点(方法)

本時 1/①	一次	1 ①	○ 中世(鎌倉・室町時代)の文化を知る。 ・ 鎌倉仏教：浄土宗，浄土真宗，日蓮，禅宗 ・ 鎌倉時代の文化，室町時代の文化 文学，美術(絵画，彫刻)，建築	現代に結びつく室町時代の文化や芸能への関心を高める。 ・ 効率よくまとめることができるようマトリックスの学習プリントを準備しておく。	関：現代に結びつく文化や芸能のはじまった時代について感心を持つ。 (学習プリント)
		2 ①	○ 中世の文化と差別された人々の関係について知る。 ・ 銀閣の庭園 ・ ケガレとキヨメ ・ 畏敬→畏怖→排除(社会的差別の成立)	・ 中世に成立したキヨメの機能を日本の芸術を代表する庭園や能楽と関係づけて理解できるように，プレゼンテーションを準備する。	知：社会におけるキヨメの機能と日本文化の関係を説明できる。 (学習プリント)
	二次	1 ①	○ 「一寸法師」のお伽草子について知り，室町時代の社会や人々の価値観の変化について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">なぜ，室町時代に下剋上の風潮が広まったのだろうか？</div>	室町時代の歴史の大きな流れについて，下剋上の視点から考えさせる。 ・ 「一寸法師」の大まかな場面設定をイラスト化した学習プリントを準備する。	思：お伽草子に隠された民衆の願いについて自分なりの考えを持つ。 (学習プリント)
		2 ①	○ 室町時代の政治について知る。 ・ 建武の新政(鎌倉幕府の滅亡) ・ 南北朝の内乱，悪党の出現 ・ 守護大名の成長 ・ 室町幕府の成立，南北朝の合一	・ 鎌倉幕府滅亡から南北朝の内乱，室町幕府成立への変化をとらえることができるように，地図を用いた学習プリントを準備する。	知：鎌倉幕府から室町幕府への変化を歴史的な流れで説明できる。 (学習プリント)
		3 ①	○ 室町時代の外交について知る。 ・ 倭寇と日明貿易 ・ 琉球王国の国際的役割	・ 勘合符のしくみをとらえることができるようにイラストと地図を掲載した学習プリントを準備する。	知：日本と東アジア世界とのかかわりを空間的な広がりから説明できる。 (学習プリント)
		4 ②	○ 室町時代の経済活動と社会の変化について知る。 ・ 産業，都市や交通の発達 ・ 農村の自治組織の成立 ・ 応仁の乱と戦乱の影響 ・ 民衆の動きと戦国大名の出現	・ 下剋上の風潮と世の中の混乱や戦国大名の出現を関連づけてとらえることができるように，因果関係図を作成させる活動を仕組む。	知：社会の変化を下剋上の視点から因果関係図を用いて説明できる。 (学習プリント)
	三次	1 ①	○ 中世の特色を政治・外交面と社会・文化面から考える。 ・ 政治：武家政治の成立 ・ 外交：東アジア世界とのかかわり <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">元寇，日明貿易，琉球王国</div> ・ 社会：産業の発展，農村の自治的組織 ・ 文化：禅宗の影響，現代との結びつき	中世の歴史の大きな流れを政治・外交面と社会・文化面から論理的に説明できるようにさせる。 ・ 4つの視点からまとめることができる学習プリントを準備しておく。	資：様々な資料の中から中世の特色に関する資料を効果的に活用できる。 (レポート)
		2 ②	○ 中世について，4つの視点から歴史の大きな流れをレポートにまとめる	・ 過去の生徒が同じ単元で作成したレポートを例示する。	知：歴史の大きな流れを政治・外交面と社会・文化面から説明できる。 (レポート)

5 本時 平成21年10月28日(水) 第5校時 第1学年2組 教室

(1) 本時の指導観

前時までには、生徒は、鎌倉仏教と鎌倉・室町時代の文化(文学, 美術, 建築)の内容をまとめる学習を行っている。よって、本時は、現在に結びつく中世の文化に関わった人々について、ケガレ観をふまえて考察させ、中世の社会的差別の成立のしくみをとらえさせることをねらいとする。

そこで、まず、われわれ日本人の中にある自然を崇高で美しいととらえる感覚について共感できるように、ヨーロッパの庭園と日本庭園のよさについて考える。次に、河原者について知るために、銀閣の庭づくりに関わった善阿弥を紹介する。さらに、「ケガレ」と「キヨメ」について理解することができるように、歴史資料を提示し、当時の人々のケガレ観について知る活動を仕組む。最後に、室町時代社会の様子として、「ききん」の様子を知らせる資料プリントをもとに、「ケガレ」を排除するために「キヨメ」も排除しようとする意識について考える場を設定する。

(2) 本時主眼

中世に成立した社会におけるキヨメの機能と日本の文化を代表する庭園や能楽の関係を説明することができる。

(3) 本時仮説

銀閣の庭園づくりに関わった善阿弥や河原者、「ケガレ」と「キヨメ」の関係について説明するプレゼンテーションを準備する。		中世に成立した社会におけるキヨメの機能と日本の文化を代表する庭園や能楽の関係を説明することができる。
--	--	--

(4) 準備

- ① フラッシュカード ② プロジェクター ③ パソコン ④ 学習プリント

ント

(5) 本時の指導過程

段階	学習活動・内容	準備	教師の手だて	評価の観点	形態	配時
導入	1 本時のめあてを確認する。 (1) ヨーロッパの庭園と日本庭園のスライドを見る。 (2) 本時のめあてを確認する。 めあて：室町時代の人々について知り、日本庭園の魅力の秘密を探ろう。	② ③	・ ヨーロッパの庭園と日本庭園をイメージできるように、写真をプロジェクターで提示する。	知：中世に成立した社会におけるキヨメの機能と日本の文化の関係を説明することができる。 A：「キヨメ」の機能と文化に関わった河原者の関係を理解し、「キヨメ」が排除される論理を説明することができる。 B：「キヨメ」の機能と中世の文化に関わった河原者の関係を説明することができる。 C：中世の文化に河原者が関わっていたことを説明することができる。	全体	10
	2 現代の世界遺産と被差別民とのかかわりを知る。 (1) 銀閣の庭づくりに関わった善阿弥について知る。 ・ 足利義政と善阿弥 ・ 天下第一の庭師、施しを受ける者 (2) 河原者について知る。 ・ 河原者…庭師(山水河原者), 皮革業	① ② ③ ④	・ 善阿弥をイメージすることができるように、人物画を提示する。 ・ 河原者について知ることができるように、複数の史料を学習プリントやプレゼンテーションで説明する。			
展開	3 「ケガレ」と「キヨメ」の関係について知る。 (1) ケガレについて知る。 (2) ケ・ケガレ・ハレの関係を説明する。 ・ 不安や怖れ→安定(キヨメの作用)	② ③	・ 「ケ・ケガレ・ハレ」の関係と「キヨメ」をイメージしやすいように、図式化して説明する。		個 / 全体	15
	4 室町時代のききんの様子を知り、ケガレに対する怖れについて考える。 ・ 自然→畏敬, 自然災害→畏怖 ・ キヨメの排除(社会的差別の成立)	① ④	・ 室町時代の社会の様子をもとに、「ケガレ」や「キヨメ」を排除するしくみについて考えさせる。		個 / 全体	15